

\*\*\*\*\*

# 体育史学会 会報

## Japan Society of the History of Physical Education and Sport

No. 204 2012. 6. 25.

\*\*\*\*\*

体育史学会事務局  
<http://www.taiikushi.org>

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1-1

福岡教育大学 保健体育講座

榑原浩晃研究室内

Fax: 0940-35-1709 (保健体育講座共通)

[hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp](mailto:hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp)

事務局への連絡は Fax または e-mail をご  
利用下さい。

### 1. 日本体育学会第63回大会におけるシンポジウムおよびキーノートレクチャー の実施について

平成24年8月22日～24日に開催される日本体育学会第62回大会（東海大学湘南キャンパス）において、専門領域「体育史」企画として以下のシンポジウムとキーノートレクチャーを実施いたします。

#### 1) 専門領域「体育史」企画(1)シンポジウム

シンポジウム 第1日目 8月22日(水) 14:00～16:00

「日本におけるスポーツ用品製造・販売業の変遷」  
コーディネーター：大熊 廣明（筑波大学）

シンポジスト

- ・水野 利昭（ミズノ株式会社社長室室長）  
日本のスポーツと歩んだミズノの100年  
—水野利八の創業と経営理念—
- ・西澤 保佑（株式会社西沢書店代表取締役社長）  
西沢書店の150年  
—スキー業界への進出、そして撤退—
- ・中嶋 健（下関市立大学）  
20世紀初頭の「美満津商店」商品カタログに見る日本のスポーツ用品産業
- ・新井 博（びわこ成蹊スポーツ大学）  
日本のスキー発祥・普及期におけるスキー製造販売業

#### 2) 専門領域「体育史」企画(2)キーノートレクチャー

キーノートレクチャー 第2日目 8月23日(木) 13:00～14:00

キーノートレクチャーの演題 「日本における運動会の歴史」

演者：木村吉次（中京大学名誉教授）

司会：來田享子（中京大学）

## II. 日本体育学会第 63 回大会期間中における体育史学会懇親会の開催について

日本体育学会第 63 回大会は平成 24 年 8 月 22 日から 24 日まで東海大学湘南キャンパスにおいて開催されます。第 1 日目は、専門領域体育史のシンポジウム（日本におけるスポーツ用品製造・販売業の変遷）が行われます。第 1 日に専門領域体育史の懇親会を行います。

懇親会は小田急線本厚木駅(北口)から徒歩 5 分程度のレンブラントホテル厚木で行います。  
懇親会費 5000 円程度 8 月 22 日(水) 18:30~20:30

〒243-0018 神奈川県厚木市中町 2-13-1  
<http://rembrandt-hotel.jp/atsugi/>

懇親会に参加される会員の皆様は、準備の都合上、8 月 13 日(月)までに体育史学会事務局の榊原浩晃会員のメールアドレス( [hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp](mailto:hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp) )に「専門領域体育史 懇親会参加 会員氏名〇〇〇〇」というようにお知らせください。毎回懇親会参加人数の把握に苦慮しております。参加予定の会員の皆様は、メールで事務局までお知らせ下さい。

## IV. 編集委員会報告

4 月 7 日に編集委員会を開催し、以下の 2 点を審議いたしました。

- 1) 『体育史研究』への投稿はいつでも可能であるが、原則として締め切りは 9 月末日とする。
- 2) 『体育史研究』に掲載する原稿等は、編集委員会による査読を経たものや依頼したものとす。

『体育史研究』第 30 号を発行する予定です。なお、『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われておりますが、各年度の投稿締め切りは 9 月末となっております。詳細については『体育史研究』第 20 号以降に掲載されている投稿規程をご覧ください。投稿先は編集委員の來田享子先生の所属勤務先です。『体育史研究』に投稿される会員の皆様は、投稿原稿送付先にお送り下さい。

〒470-0393 豊田市貝津町床立101  
中京大学スポーツ科学部 來田享子先生研究室気付  
「体育史研究」編集委員会  
電話 0565-46-6568 (研究室直通)  
E-mail [kraitais@sass.chukyo-u.ac.jp](mailto:kraitais@sass.chukyo-u.ac.jp)

## V. 会報の電子化に伴う会員による e-mail の登録について (お願い)

- (1) 会報の電子化により、体育史学会会員は事務局まで以下の要領で e-mail アドレスを

お知らせ願います。事務局で会員メールアドレスを作成し、登録いたします。

[e-mail アドレス使用の用途]

- ① ②から④の用途に会員のメールアドレスを使用し、その他の用途には使用しないこととする。
- ② 体育史学会会報（添付資料 MS-WORD 書式）を配信するために会員（正会員、準会員、名誉会員）からお申し出のアドレスを使用する。複数のアドレスでもよいこととする。ただし、携帯電話のメールアドレスは不可とする。
- ③ 体育史学会に関する事務局からの連絡や会員への問い合わせに使用する。
- ④ 一般社団法人日本体育学会事務局からの体育史学会会員への連絡事項や会員への問い合わせに使用する。

[e-mail アドレスの事務局への登録方法]

- 1) 事務局長のメールアドレス（榊原浩晃，福岡教育大学，hiroakis@fukuoka-edu.ac.jp）にメールを送付する。件名：体育史学会メール登録，メール本文に「会員氏名，メールアドレス」を入力する。
- 2) 事務局長からのメール返信（会員メールアドレス，このメールが体育史学会事務局へ登録されました。）によって，登録手続きが完了したこととする。  
メール返信は，自動化されていませんので，事務局長不在の際は，返信が遅れることがあります。返信がない場合は，再度送信していただくか，メールか，ファックスで問い合わせして下さい。

(2) HPに会報をアップした旨のメールを登録メールアドレス宛に配信いたします。そして，会報の内容を体育史学会ホームページ (<http://www.taiikushi.org>) よりご覧いただくようにしております。

また，会報の受け取りや事務局からの連絡について，e-mail をお使いにならない会員は，はがきか封書でその旨事務局にご連絡下さい。e-mail をお使いにならない会員に対しては，そのお申し出を受けて封筒による紙媒体で会報をお送りいたします。

## VI. 会費を銀行口座からの自動引き落としによって納入されていない会員の方へ

平成 24 年度会費は，郵便振替または，ゆうちょ銀行への振り込みをご利用下さい。

- (9 月から加入者名を変更する予定です。新加入者名はホームページ及び次回会報でお知らせします。)

会費納入のために郵便振替をご利用の会員の皆様へ平成 24 年 8 月 31 日までは以下の口座番号，加入者名を継続します。

郵便振替口座番号 01050-0-74654 加入者名：体育史専門分科会

または

ゆうちょ銀行 店番109（イチゼロキュウ店）

預金種目 当座 口座番号 0074654 受取人名 タイクセンモンブツカイ

## Ⅶ. 体育史学会第1回学会大会（2012年度）の報告

体育史学会第1回学会大会（2012年度）は、都筑 真先生（福山平成大学）のお世話により、5月12日（土）および13日（日）の両日、広島県福山市の福山平成大学において開催されました。一般研究発表は、次頁のように8演題の発表がありました。この他に体育史研究・研究方法セミナー（演者：楠戸一彦先生）が実施されました。

### 〔一般研究発表〕

発表演題は以下のとおりです。

○船場大資（山口大学大学院東アジア研究科博士課程）  
日本における近代スポーツ規範形成に関する研究—増田義一著『思想善導の基準』（1921）にみる英国化とその限界—

○古川 修（財）（埼玉县体育協会・東洋大学大学院）  
戦前における埼玉県内の中等学校体操教師について—昭和12年度に行われた中等学校体操科  
教員調査をもとに—

○村井 友樹（筑波大学大学院）  
第二次大戦末期の航空体育に関する研究—国民学校への導入過程に着目して—

○登 あい（筑波大学大学院）  
1890年代のイギリスにおける体育理論へのゲーム活動の位置づけとその主張  
—Physique : Journal of Physical Education (1891) を中心として—

○鈴木楓太（一橋大学大学院）  
女子体力章検定の制定過程に関する研究—体力の動員とジェンダーの観点から—

○李 燦雨（筑波大学研究員）  
朝鮮弓術の近代化と競技化—20世紀射契の事例を中心に—

○鈴木 明哲（東京学芸大学）  
中国におけるC.H. マックロイ—陶行知との関係を中心に—

### 〔体育史研究・研究方法セミナー〕

歴史研究の課題：実証と解釈

演者 楠戸 一彦（広島大学）

司会 有賀 郁敏（立命館大学）

## Ⅷ. 体育史学会総会報告

総会資料をご覧ください。

## Ⅸ. その他

体育史学会として、日本学術会議に登録学術団体への申請を行う際、学会会員のうち大学等高等教育機関に教員として所属している会員の氏名と職名（職位）を記載する書類が必要です。このことについて、今回の会報発行と共に、「体育史学会個人情報登録票」を全会員に送付し、記入してい

ただいた上で、事務局へファックスか、メール添付によるPDFの送付をお願いすることになりました。また、これを機に独立学会として会員情報を事務局で保持することにいたします。